

## し らうお魚醤発売記念対談 市長×笠原将弘シェフ

なめがたブランド戦略会議では、霞ヶ浦産シラウオを原料にして「しろうお魚醤」を商品化しました。「しろうお魚醤」は、霞ヶ浦の周辺地域で伝統的に食べられていた「シラウオの塩辛」から着想を得て企画したもので、シラウオと食塩のみを使用し、身が溶けるまで待つという、伝統的な製法により熟成させた一品です。シラウオの素材としての可能性を凝縮しているのので、さまざまな料理に深い味わいを加えることができる調味料となっています。

このたび、この商品の発売を記念して、行方市長と料亭「贅否両論」の笠原将弘シェフとの記念対談を行いました。対談の様子は、なめがたエリアテレビまたはなめがたブランド戦略会議のホームページでご覧いただけます。また「しろうお魚醤」を使ったレシピを、笠原シェフに監修していただきました。ご家庭でお気軽に作ることができるレシピですので、ぜひお試しください！



▲（写真左から）ファシリテーターのフリーアナウンサー木村さおりさん、鈴木市長、笠原将弘シェフ



◀ 「しろうお魚醤」  
（写真左）こはく  
（写真右）すず  
※行方市観光物産館こいこい、  
ECサイト「なめがたさんちの  
特選マルシェ」等で販売中

### 魚醤たまねぎドレッシングサラダ

#### 材料

タマネギ 1/2  
お好みの野菜  
A（魚醤大さじ1、米酢大さじ2、  
サラダ油80cc、こしょう少々、  
砂糖小さじ2）

#### 作り方

- ① タマネギはすりおろして水気を絞る。
- ② ①をAと混ぜ合わせる。
- ③ ②をお好みの野菜にかける。

### 魚醤風味 シラウオと野菜の炊き込み御飯

#### 材料（約4人分）

シラウオ 80g  
ニンジン 50g  
ゴボウ 60g  
しめじ 1/2  
みつば 5本  
米 2合  
塩 少々  
A（水360cc、魚醤大さじ1、酒  
大さじ2）

#### 作り方

- ① 米は研いで30分浸水させ、ザルに上げ水気を切る。
- ② シラウオは塩水で洗い、水気を切っておく。
- ③ ニンジンは3cm長の細切り、ゴボウはささがき、しめじは根元を切ってほぐす。
- ④ みつばは茎を小口切りにする。
- ⑤ 土鍋に米、A、③を入れて炊く。強火にかけ、沸いたら中火で5分、弱火で15分。
- ⑥ ⑤に②を散らし、5分蒸らす。
- ⑦ ④を散らして完成。

### 魚醤スープで野菜鍋

#### 材料（約4人分）

大根 300g  
長ネギ 1本  
白菜葉 3枚  
えのき 1パック  
シイタケ 4枚  
もめん豆腐 1丁  
レモン 1個  
A（水1リットル、魚醤大さじ4、  
砂糖大さじ2.5、おろしにんにく  
小さじ2、酒大さじ5）

#### 作り方

- ① 大根はピーラーでリボン状にむく。長ネギはななめ薄切り、白菜の葉の部分はザク切り、茎の部分はそぎ切りにする。
- ② えのき、シイタケは根元を落とし、ほぐす。
- ③ もめん豆腐は8等分に切る。
- ④ 土鍋にAを合わせて火にかけ、①②③を煮て、お好みでレモンを絞る。



◀こちらのレシピはなめがたブランド戦略会議のホームページで公開中！



◀市長と笠原シェフの対談の様子はこちら

## 子ども会相互の親睦を深める 子ども会まつり in 白浜

12月3日（日）、茨城県立白浜少年自然の家にて、子ども会まつりが開催され、参加者や運営スタッフ合わせて439人が参加し、体験や交流を行いました。本イベントでは、市子ども会育成会役員や、保護者の方々、なめがたふれあいスポーツクラブ、文化協会かるたの会、かすみがうら市水族館、高校生会による運営協力のもと、ニュースポーツ、なめがた郷土かるた体験会、生き物との触れ合い、創作活動や焼き芋配布等が行われました。活動に参加した子どもたちは、貴重な体験と交流の機会を楽しみ、会場は大きな盛り上がりを見せました。



▲行方市更生保護女性会（玉造支部）の皆さん

## シ クラメンの鉢植えを寄贈 行方市更生保護女性会

行方市更生保護女性会の皆さんが、支部ごとに玉造・麻生・北浦庁舎を訪れ、シクラメンの鉢植えを寄贈しました。行方市更生保護女性会は、母として女性としての立場から青少年の健全育成に取り組み、明るい社会づくりを目指す活動の一環として、シクラメンの配布を行っています。

## 高 度な専門性を持つ外部人材を活用 遠隔教育実証研究事業公開授業

12月7日（木）、北浦小学校にて、静岡大学大学院総合科学技術研究科准教授伊藤友孝先生との遠隔授業が、同時双方向型Web会議システムを活用して実施されました。高度な専門性を持つ大学の先生から直接指導や助言をいただくことで、プログラミングを活用した課題解決への意欲と探究心、思考力等を高めることができました。6年生の石橋優さんは「伊藤先生や友達にアドバイスをもらい、自分のプログラムをもっと良いものにできました。行方市の未来のために考えているプログラムを、次の時間に組み直すのが楽しみです」と語りました。



## 生 物多様性保全とSDGs 環境講演会

12月13日（水）、国連の定める「持続可能な開発目標（SDGs）」を分かりやすく学んでもらおうと、北浦中学校2年生を対象に、環境保全行方市民会議主催の環境講演会が開催されました。国立環境研究所生物多様性領域生態リスク評価・対策研究室室長の五箇公一さんが講師となり、持続可能な社会を目指す上での生物多様性保全の重要性等について、詳しく説明していただきました。行方市環境基本計画に基づく環境教育および環境学習の一環として、環境を守るため、自分は何ができるかを考える良い機会となりました。

## 農業施策に関する要望書を提出 行方市農業委員会

12月15日(金)、行方市農業委員会(高塚利英会長)は、「令和6年度行方市農業施策に関する要望書」を市長へ提出しました。地域農業を取り巻く環境は、肥料・飼料・農業資材等の価格高騰、農業者の高齢化や後継者不足、鳥獣害被害など、さまざまな課題を抱えています。本要望書は、農業委員会活動を通じて得た知見や農業者の「現場の声」を幅広くくみ上げ、農業に取り組める環境づくりが構築され、本市の農業が発展するよう、要望したものです。



▲(写真右) 行方市農業委員会高塚利英会長



▲(写真中央) 元ラグビー日本代表 大野均さん

## 体を動かす楽しさを体感 SOMPO ボールゲームフェスタ 2023in 行方

12月16日(土)、北浦運動場にて、元ラグビー日本代表の大野均さんをはじめとした著名なアスリートらが、子どもたちに体を動かす楽しさやボールゲームの基本的な技術などを指導しました。ボールを使った遊びを通して運動の基礎を作るプログラム「あそびバ!」には37組の親子が参加し、笑顔あふれる時間を過ごしました。さまざまなボールゲームを体験するプログラム「キッズチャレンジ」には58人の子ども達が参加し、体を思い切り動かして、各競技を楽しみました。

## 鹿行地域では初 手話言語の普及に関する条例を制定

市は、「手話は言語である」との認識に基づき、12月19日(火)、「行方市手話言語の普及に関する条例」を制定しました。この条例により、手話への理解の促進および手話の普及を図り、手話を必要とする人が手話を使いやすい環境を整備するために必要な施策を推進します。また、手話とろう者について理解を深め、ろう者と聞こえる人たちが互いに尊重し合い、支え合いながら生きていける地域社会の実現を目指します。



▲表敬訪問

## 国際大会で多数入賞 国際空手道研究会連盟 拳友会 北浦支部

11月5日(日)、横浜武道館で開催された世界空手道連盟士道館国際大会に市内の小・中学生が出場し、以下の9人が入賞しました。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| フルコンタクト空手 小学生 男子 | フルコンタクト空手 小学生 女子 |
| 小学1年の部           | 小学2年の部           |
| 【優勝】飯島 岳(玉造小)    | 【準優勝】立花 蘭(玉造小)   |
| 【第3位】高野 碧葉(玉造小)  | 小学4年の部           |
| 【第3位】平間 大輝(北浦小)  | 【準優勝】飯島 希依(玉造小)  |
| 小学4年の部           | フルコンタクト空手 中学生 女子 |
| 【準優勝】立花 善(玉造小)   | 無差別級             |
| 【ベスト8】鈴木 豪(玉造小)  | 【優勝】村上 愛季(北浦中)   |
| 小学5年の部           |                  |
| 【第3位】狩谷 裕飛(玉造小)  |                  |

## 地域社会へ恩返し 麻生高校生 清掃ボランティア活動

12月26日(火)、麻生高校の生徒や教員合わせて約230人が、清掃ボランティアを実施しました。この活動は、ボランティア精神を養うとともに、学校内外の美化活動への貢献、普段お世話になっている地域社会への恩返しなどを目的とし、恒例行事として毎年実施されています。清掃範囲は、麻生高校敷地内のみならず、麻生高校から行方警察署、麻生公民館、麻生商店街までの道路沿いと広範囲にわたり、可燃ごみ20袋、不燃ごみ3袋分のごみが収集されました。



## 農業活性化の一助として 地域おこし協力隊 佐藤晶さんが着任

11月1日付けで、行方市の新たな地域おこし協力隊として、佐藤晶さんが着任しました。佐藤さんは市の農業活性化の一助として新規就農を目指し、市内農業経営者のもとで農作業に従事するほか、市農産物のPR活動、朝市やマルシェ等の企画提案に向けた活動などをしていく予定です。

※地域おこし協力隊…都市地域から住民票を移動して、地域での協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る制度。市では平成30年から現在までに4人の隊員を任用。

### 医療機関案内

**茨城子ども救急電話相談** 24時間 365日  
☎ 050-5445-2856 (短縮ダイヤル# 8000)

**茨城おとな救急電話相談** 24時間 365日  
☎ 050-5445-2856 (短縮ダイヤル# 7119)

**中毒110番**  
つくば (9:00 ~ 21:00) ☎ 029-852-9999  
大阪 (24時間対応) ☎ 072-727-2499  
日本中毒情報センター <https://www.j-poison-ic.jp>

**鹿嶋市夜間小児救急診療所**  
☎ 0299-82-3817  
診療時間 夜間(毎日) 20:00 ~ 23:00  
(受付 22:45 まで)  
対象 中学生以下  
場所 鹿嶋市宮中 1998-2  
鹿嶋市教育センター内



まちの  
広報紙

### スマホでもっと楽しめる! 市報行方デジタルブック!

音声読み上げ、スライドショー、10言語の多言語翻訳機能が搭載された無料のスマートフォン向けアプリです。紙の情報を電子データで配信しています。

Android



行方市のコンテンツは  
こちら▶



iPhone



## 地域防災への気持ち新たに 令和6年行方市消防出初式

1月6日（土）、麻生運動場体育館にて、行方市消防出初式が行われ、市内の消防団員や消防署員など約270人が参加しました。式典では、市長式辞と団長訓辞を受け、参加者一人一人が地域の防火・防災への気持ちを新たにしました。併せて、表彰（県知事表彰：永年勤続功労章30年以上：2人、20年以上：43人、県消防協会長表彰：永年勤続功労章30年以上：1人、功労章15年以上：30人、家族消防団員表彰：1組）などが行われました。



▲式典終了後に天王崎公園にて消防車両27台が一齐放水

## 私たちの大切な行方を守る 消防団員募集中

人と街を守るチームとして、あなたも消防団の一員になりませんか。入団のお問い合わせは地元消防団または消防団事務局（総務課防災交通グループ ☎0299-72-0811）までご連絡ください。

### 令和5年第15回なめがた狂歌年間特別賞受賞者発表

今回は第1期・第2期合わせて延べ1,019人1,581首の応募がありました。75の方が入選され、そのうち31人と3校が特別賞を受賞しました。おめでとうございます。入選作品は市公式ホームページからご覧いただけます。

賞	受賞者（校）名
茨城県知事賞	田曾 真由美（千葉県八千代市）
行方市長賞	松本 玉江（行方市）
行方市議会議長賞	柏 茉紘（玉造小学校）
行方市教育委員会教育長賞	千 夏（神奈川県秦野市）
選者賞	二宮 正博（福岡県筑紫野市）
	大本 茉弥（大阪桐蔭高等学校）
	片山 泰輝（日本体育大学）
秀逸	古賀 由美子（佐賀県唐津市）
	穂苅 敏（北海道札幌市）
	服部 青甫（かすみがうら市）
	沖 暁洋（日本体育大学）
	品川 稜空（日本体育大学）
	塚本 陽代莉（鹿島高等学校）
	野邊 麻尋（水海道第二高等学校）
	貝塚 優輝（玉造中学校）
	岡田 優龍（波野小学校）
	宮川 穰（麻生小学校）
	茂木 莉愛（麻生小学校）
	山口 颯太（麻生小学校）
	出沼 希子（麻生小学校）
永作 悠太（麻生小学校）	

賞	受賞者（校）名
奨励賞	米良 紀子（和歌山県新宮市）
	沼倉 未磨（日本体育大学）
	鈴木 智矢（麻生高等学校）
	言えぬ恋（鹿島高等学校）
	飯島 大翔（玉造中学校）
	曾根 明李（潮来第一中学校）
	永作 啓太（麻生小学校）
	櫻井 結（麻生小学校）
	高柳 彩乃（北浦小学校）
学校賞	栗又 幸音（玉造小学校）
	麻生小学校
	北浦小学校
	玉造中学校

（順不同・敬称略。受賞者の希望により狂歌名での表記あり）



入選作品一覧▶

# 帰省メシを——食べた記憶・作る思い

## 「行方帰省メシ」新エピソード公開

帰省したときに食べるごはん「帰省メシ」にまつわるエピソードを集めた企画「行方帰省メシ」。これまで、学生編・社会人編と連載してきましたが、今回は特別編として、「帰省メシ」を食べる側・作る側、どちらも経験された方を取材し、お話をうかがいました。取材会場として使用させていただいたのは、つくば国際会議場内のRistorante TSUMU（リストランテ ツム）。当日は、市の食材をふんだんに取り入れた料理をご提供いただきました。取材の様子は、なめがたエリアテレビ（なめテレ）で放送予定です。



◀ なめがた大使・著述家の小林光恵さん



▶ 小林先生の幼なじみ・小池公子さん



▲ 取材当日のメニューを一部ご紹介！

- ①霞ヶ浦シラウオと鯉のカルパッチョ ②霞ヶ浦産ナマズのフリット ③行方市産サツマイモのアイス ④ナスのチョコ包み行方市産のレンコン添え
- ※通常メニューとは異なります



▲ 「行方帰省メシ」（市公式ホームページ）

<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir009654.html>



行方市シティプロモーション活動の一環として、なめがた大使の著述家・小林光恵先生が企画・監修し、市公式ホームページで公開しています。船が港に戻り休息を取りながら燃料を補給するように、さまざまな人が食材豊かな行方市に帰省して英気を養い、ふたたび学業や仕事などの地へと戻っていく。そのおひとりおひとりの「帰省メシ」に込められた、さまざまな思いをお伝えしています。皆さんの「行方帰省メシ」に関するエピソードも、随時募集中です！



「茨城の豊かさを料理で表現する」をコンセプトとした、つくば市出身の大井健司シェフが手がけるイタリアンレストラン。大井シェフには行方市シティプロモーションタスクフォースのサポートメンバーとして、「食」によるシティプロモーション活動を推進していただいています。レストランで提供される料理にも、行方市産の食材が数多く使用されています。

▼ Ristorante TSUMU（リストランテ ツム）  
（住所）〒305-0032 つくば市竹園 2-20-3 つくば国際会議場 1 階  
（ホームページ）<https://ristorante-tsumu.com/>



▼ 大井シェフが参加した行方市シティプロモーション「食」イベント  
「風と土と美味しい飯（食クエスト）」<https://youtu.be/BI5S-aWZTDc>  
「風と土と美味しい飯（外伝）」<https://youtu.be/uMzTeyww1Jk>



◀ 食クエスト



▶ 外伝

